

[清流にいた蛙]

2013.3.9

岸辺に雪が残る沢川で、溪流釣りの餌となる川虫を捕っている人がいて、見ていたら水から引き上げた金網の中に一匹の蛙が入っていて、雪の上に放り出されました。この時期の蛙は珍しく格好の被写体としてカメラを向け写真を撮りました。冷たい雪の上に置かれた蛙は、暫くじっとしていましたが、飛び跳ねることなくゆっくりと川に向かって這い出し、水の中に戻っていきました。蛙の名前が判らず、松田先生にお尋ねし『ヤマアカガエル』と判りました。それにしても、この時期、身を切るような冷たい清流の中で生きていることに驚きと、その生命力に感心させられました。



(加納 巖)